



こ ばやし たか とら
小林 貴 虎

しみんくらぶ
市民クラブ

骨髄移植ドナー助成制度について

問 骨髄を提供するにあたって入院が必要であるという前提がある中、わずかでもドナーの負担を軽減する措置として、休業補償を実施している自治体が県内にも3市存在する。津市は県に要望するだけで対応が消極的だ。

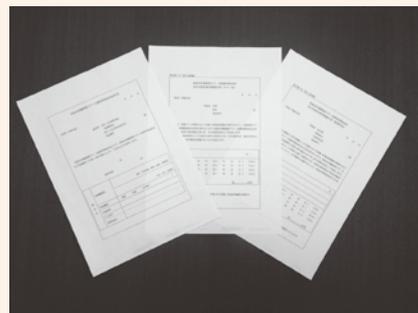
県都として率先して事業化し、他市を牽引すべき立場ではないのか。

答 骨髄移植ドナーの助成については、平成27年度の県政要望にも掲げており、本来は国や県がすべきであると考えられるものの、ドナーに対して背中を押す効果が非常に高いと考えることから、予算について、今後、良い方向で財政協議の中で検討し、来年度に向けて考えていきたい。



●その他の質疑・質問●

- 津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定について
- 民間事業者による提案制度について
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正案可決を受けて



▲他市における骨髄移植ドナー支援事業助成制度の関係資料



はっ た まさ とし
八 太 正 年

む かい は
無 会 派

久居南庁舎解体は、無駄遣いと言わないのか

問 平成6年に建設された南庁舎は、現在2億2,000万円の価値があると聞いている。

これを3,600万円もかけて解体してしまうという無駄遣いを平気で計画している。

市民の皆さんに無駄遣いはしていません、したらだめだと、常に言っているが、このことは、無駄遣いと言わないのか。

議会では、十分な議論がなされていない。

答 (質問議員の「問」に対して、執行部から適正な答弁がなされていないことから、掲載できません。)



●その他の質疑・質問●

- 議案第80号 津市斎場の設置及び管理に関する条例の制定について
- 条例順守について
 - ・印鑑登録証明書の不正交付について
 - ・ポルタひさいに係る財産の取得について
- 市有財産の横流しについて
- 近鉄久居駅付近の鉄道高架化について など



▲2億2,000万円もの価値がありながら解体予定の南庁舎